

平成23年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、各区中心館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：豊栄図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価(%は外部評価者の割合)	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数は平成21年度270件、22年度260件、23年度243件で、減少傾向が続いている。	カウンター業務が委託になって職員が開架に出る頻度が減った。利用者懇談会などで委託業者スタッフには声をかけづらいという声も聞かれた。また、統計のとり方についてはもう一度職員、委託業者の間で確認が必要である。レファレンスについて、お客様にどうお手伝いができるか、という基本的なところから機会を捉えてPRしていきたい。	1 大変評価する。0% 2 ある程度評価する。62.5% 3 評価できない。37.5%	・レファレンスサービスは市民の知的活動を支援するためにも重要なので、委託業者との確認・調整が更に必要である。また、利用者が分かり易いよう効果的なPR(掲示、チラシ設置)を行ってほしい。
	◆館の重点評価項目 ・予約件数の増加	・全市オンライン化や資料回送を有効に活用し、利用者の利便性向上を図る。	・平成22年度実績 9,893件 ・平成23年度目標 15,000件 これらに対して平成23年度実績は、予約件数22,706件と大幅増加となった。	平成22年12月、市立図書館全館がオンラインで結ばれたことにより、市内図書館の所蔵状況が1回のパソコン操作で把握できるようになった。またインターネットでの予約ができるようになって閉館時でも資料の予約が可能となる等利便性が向上し、予約数が増えた。また新規に利用者登録する際に、パソコン初心者でもインターネットから予約をかけられるようにわかりやすい説明書を配布している。それとともにコンピュータの操作等が得意でない方にも安心して使っていただけるようなサポートにも力を入れていきたい。	1 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12.5% 3 評価できない。0.0%	・オンライン化で予約件数が大幅に増加したことは評価する。 一方、パソコン操作が苦手な高齢者へのサポートにも配慮されたい。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・特色ある地域づくりに寄与するため、新潟市や北区に関する資料の収集整理に努める。	・郷土・行政資料蔵書冊数 H22実績 8,557冊、H23目標 8,800冊 H23実績 8,744冊 ・郷土・行政資料貸出冊数 H22実績 2,384冊、H23目標 2,400冊 H23実績 2,455冊	蔵書冊数は目標に僅かに届かなかったが、貸出冊数は目標をクリアすることができた。より利用の促進を図るためには、テーマ図書で紹介する。地域の意外な魅力が掲載されている本を紹介するなど工夫が必要。また、広報とよさかの記事検索等を容易にするデータベースを作成中。	1 大変評価する。50.0% 2 ある程度評価する。50.0% 3 評価できない。0.0%	・阿賀北の中心として郷土資料の収集に当たってほしい。 ・行政資料の収集についても、関係機関との連携により漏れの無いように当たってほしい。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	・平成22年度実績 未実施 ・平成23年度目標 540人(北区全体) ・平成23年度実績 538人(北区全体) (豊栄地区380人+北地区158人)	北区全体(豊栄地区380人+北地区158人=538人)で目標数値をほぼ達成。ブックスタート会場で図書館の利用案内をすると、0・1・2歳でも図書館を利用できることに驚かれることが多いので、ブックスタート会場での図書館利用者の掘り起しにも力を入れて行くことが必要。	1 大変評価する。75.0% 2 ある程度評価する。25.0% 3 評価できない。0.0%	・赤ちゃんと保護者に絵本の楽しさを体験してもらうほか、図書館の情報を手渡すことで、利用者の拡大につなげることができる良い取り組みである。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・ボランティア団体の主導でわくわく体験夏まつりを開催することができた。その中で、豊栄図書館としては初の試みとなる雑誌のリサイクルを行うことができた。 ・古本市の収益と募金で70,780円は、日本赤十字社新潟市北区地区を通じて東日本大震災の義援金とさせていただきます。	・定例の事業の他にもボランティア団体と協議し、新たな活動の可能性を得ることができた。	1 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12.5% 3 評価できない。0.0%	・ボランティアの連携が上手いっていることを評価する。